

BIOGRAPHY ・ バイオグラフィー

エレクトロニック・ミュージック ・ フランス

JCR2

作曲家 ・ プロデューサー ・ リミキサー

Electronica

Ambient

Techno

House

Trance

Synthpop

Eurodance

Synthwave

映画音楽

MP3.COMからBANDCAMPへ

30年以上にわたるインディペンデントな創作

1990年代 - 2026年

独学のエレクトロニック・ミュージシャン、インターネットとともに

JCRZは、1990年代初頭から活動する、フランスのエレクトロニック・ミュージックの作曲家、プロデューサー、リミキサーである。独学で音楽を身につけ、主にシンセサイザー、シーケンサー、コンピューターを使って制作している。公式サイトでも、正式な音楽教育を受けたことはなく、シンセサイザーとコンピューターで直感的に作曲していることが強調されている。

その音楽世界は、エレクトロニカ、アンビエント、テクノ、ハウス、トランス、シンセポップ、ユーロダンス、シンセウェイヴ、映画音楽まで幅広い。影響源も明確で、電子音楽の先駆者たちから1990年代のダンス・ミュージック、そして映画音楽の巨匠たちにまで及ぶ。

エレクトロニック・ポップ・ダンス

Kraftwerk

Tangerine Dream

Klaus Schulze

Jean-Michel Jarre

Giorgio Moroder

Philip Glass

Moby

Pet Shop Boys

Paul van Dyk

Blank & Jones

Jam & Spoon

映画音楽

John Williams

Jerry Goldsmith

Hans Zimmer

John Carpenter

Vangelis

John Barry

Ennio Morricone

01 デジタル配信の黎明期から最初のプラットフォームへ

JCRZの歩みは、インターネットによる音楽配信の始まりと深く結びついている。1990年代初頭に最初の電子音楽を作曲したのち、JCRZは**1996**年頃にデジタル配信を初めて試みたと語る。MP3フォーマットがまだ普及し始めたばかりの時代である。

ただし**MP3.com**での活動は、それより少し後のことになる。同サービスは**1997**年末に開始され、初期のエンジニアの一人によれば、インディペンデントなミュージシャンから直接楽曲を受け付け始めたのは**1998**年夏だった。つまりJCRZは、YouTube、SoundCloud、Bandcamp、Spotifyが登場するはるか以前に、インターネットとMP3で自らの音楽を発信した第一世代のアーティストの一人である。

02 Jamendoとフリー・ミュージック

2000年代、**Jamendo**はJCRZのカタログの主要な発表の場の一つとなった（アーティスト・プロフィール [2189/jcrz](#)）。当時の公式サイトでは、JCRZをクリエイティブ・コモンズ・ライセンスのもとJamendoで公開される無料のエレクトロニック・ミュージックとして明確に紹介していた。

この時期は特に重要である。2010年1月に公開されたインタビューで、作家・評論家のロバート・ネーグル（Robert Nagle）は、JCRZを**Jamendo**ですでに12枚のアルバムを発表したフランスの電子音楽家として紹介している。インタビューで名前の挙がった6作品はJamendoの元のアルバムページと照合でき、発売日もそこから引用している：

	No. 2142	<i>Kind of Music</i>	2006年6月10日
	No. 3186	<i>Fractal Attraction</i>	2006年10月28日
	No. 7602	<i>Sit Down & Dance 2.0</i>	2007年9月11日
	No. 31114	<i>Checksum of Life</i>	2008年9月11日
	No. 48263	<i>Non-compliant Human Being</i>	2010年以前
	No. 54747	<i>Volume 10</i>	2009年11月

インタビューでは、*Dreamsequence*、*Attraction Zero*、*Rollercoaster*、*Memory Lost*、*Red Javeline* (Sun Mix)、*Blue Javeline* (Moon Mix)、*Touched by an Angel*、*Urban Interlude*といった楽曲も取り上げられている。*Rollercoaster*は15年後、2025年のアップデート版で新たな生命を得ることになる。

クリエイティブ・コモンズによる配信は、彼の音楽をJamendoの外へも広げた。たとえば2007年4月には、ネットレーベルやJamendo、ccMixter出身のアーティストを紹介する国際的なポッドキャストExpand Your Musical Horizonsに早くも登場し、同年5月と8月にも再び取り上げられている。

この共有の文化はその後も続いた。たとえば2014年には、クリエイティブ・コモンズ楽曲のみを使用する番組で*Dialing to Nowhere*が放送された。JCRZ自身のMixcloudアカウントも旧Jamendoプロフィールへのリンクを掲げ、該当楽曲のライセンスをCC BY-NC-NDと明記している。

03 直感的な手法、メランコリックな個性

2010年のインタビューは、JCRZの制作方法も明らかにしている。すべてはシンセサイザーの音色カリズムから始まり、そこにベース、パッド、ストリングスなどの要素を直感的に少しずつ重ねていく。

曲を残すかどうかは「翌日テスト」で決まる。翌日に冷静な耳で聴き直し、世に出す価値があるかを判断するのだ。

ロバート・ネーグルによるインタビューより - 2010年

彼は独学という経歴をある種のミニマリズムと結びつけ、メランコリーと短調の多用を自身の音楽の最も特徴的な要素として挙げている。レコード以外では、アフリカやブラジルへの旅、そしてヨーロッパのクラブの雰囲気もインスピレーションの源だという。

年表

1990s

最初の電子音楽作品

1996

デジタル配信を初めて試みる

1998

MP3.comがインディペンデント・ミュージシャンに開放される

2006

*Kind of Music*と*Fractal Attraction*、Jamendoで最初のアルバム

2007

Sit Down & Dance 2.0 / ポッドキャスト *Expand Your Musical Horizons*

2010

ロバート・ネーグルのインタビュー：Jamendoで12作

2015

*Jubilee*で現在のディスコグラフィが始まる

2016

Soundtracks、オーケストラと映画音楽への転換

2020

Interceptor / *Paninaro*のリミックス / ジャン＝ミシェル・ジャールのEÖNリミックス・コンテスト

2022

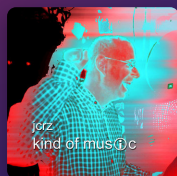
The Cinematic Project / *Tony's Theme*

2026

Grey Clouds

初期ディスコグラフィ

現在のディスコグラフィ以前には、2006年以降クリエイティブ・コモンズ・ライセンスのもとJamendoで広く公開された、数多くのセルフプロデュース作品がある。ジャケットはすべてアーティスト自身によるオリジナル作品である。



2006
Kind of Music



2006
Fractal Attraction



2007
Sit Down & Dance
2.0



Island Revisited



2008
Samples Of Myself



2008
Shadows Of Silence



2008
Checksum Of Life



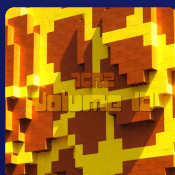
Out Of The Mix



2009
Farscape and ∞



Non-compliant
Human Being



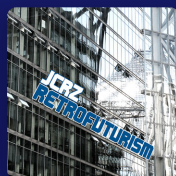
2009
Volume 10



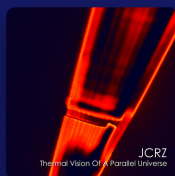
Fever (The Single)



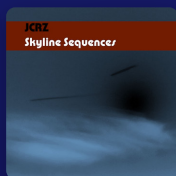
Digital Elegy



2010
RetroFuturism



2010
Thermal Vision Of
A Parallel Universe



Skyline Sequences



Midnight Horizons



Technology



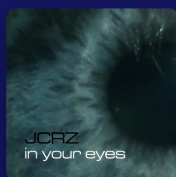
Sequence Me



Return To
Monument Valley
- The Mixes



Return To
Monument Valley
- The Remixes



In Your Eyes



Connection



Unleashed



Touch



Smoke



Relooped



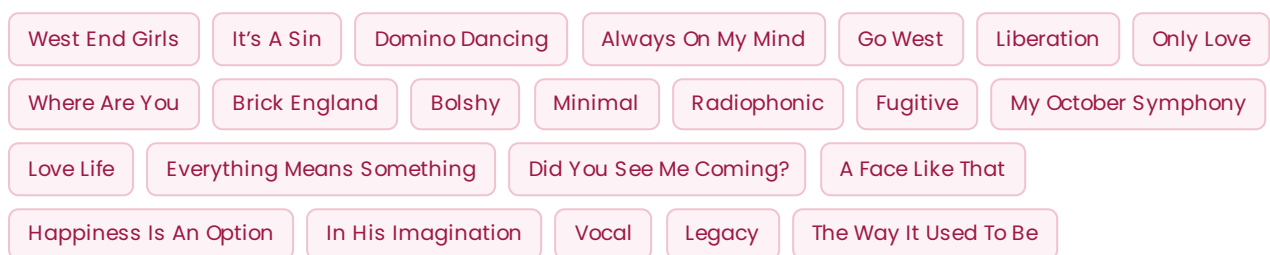
The Mission

04 リミキサーとしての顔

オリジナル作品と並行して、JCRZはリミキサーとして非常に多くの作品を手がけてきた。特にペット・ショップ・ボーイズの楽曲が中心である。これらは基本的にバンドやレーベルから依頼されたものではなく、楽しみ、デモンストレーション、プロモーションのために制作された非公式のファン・リミックスやマッシュアップである。

JCRZはMixcloudでもこの点を明記している。ペット・ショップ・ボーイズのリミックスは非公式の作品であり、原曲の権利はニール・テナントとクリス・ロウに帰属する。

その規模は相当なものだ。Mixcloudで公開されているA 200 Minute Selection Of JCRZ Remixesは、バンドのあらゆる時代の楽曲を網羅している：



これらのリミックスはファン・コミュニティの中にとどまらなかった。最も顕著な例がThe Way It Used To Beで、JCRZ自身がリミックスのために制作したミュージックビデオは、非公式作品としては異例の幅広い視聴者をYouTubeで獲得している。Paninaroのリミックス（2020年）も多くのリスナーに届いた。またGolden Age Ultra Extension Remixは、2021年3月7日にRadio Plusで放送された。

活動の場はペット・ショップ・ボーイズにとどまらない。モービーのGoのミックスJCRZ Nowhere To Go Mixは、2010年にはすでにフォーラムAsk MetaFilterで推薦されていた。エレクトロニックのGetting Away With ItにはJCRZ Blended Remixを手がけ、2020年には、自身の原点となる影響源の一人ジャン＝ミシェル・ジャールが開催したEÖNリミックス・コンテストに参加している。

05 ウェイン・スチューダー（Geowayne）による言及

こうした活動は、ペット・ショップ・ボーイズの国際的なファン・コミュニティでも注目された。バンドの作品を扱う定番サイトGeowayneの作者ウェイン・スチューダー（Wayne Studer）は、お気に入りのマッシュアップとしてJCRZの作品を挙げている。

特に挙げられているのは、Pet Shop Boys vs Anne Clark – God Willing (JCRZ Remix)とPet Shop Boys vs Giorgio Moroder – Vocal Racerである。

Vocal Racerについて、彼はJCRZがペット・ショップ・ボーイズの非公式リミックスの愛好家の間で名を知られる存在になったと記している。

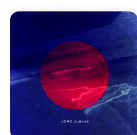
WAYNE STUDER — GEOWAYNE

Geowayneでは、JCRZのもう一つの作品**Pet Shop Boys: Dictionary**も紹介されている。バンドの歌詞に使われる単語の頻度を分析したプロジェクトである。

06 オリジナル作品：エレクトロニカから映画音楽へ

リミックス活動と並行して、JCRZは自身の作曲活動を絶えず続けてきた。Jamendo時代の後、**2015年**からBandcampやストーリーミング・サービスでカタログが再編され、Love Controlを収録したJubileeを皮切りに、映画音楽の色合いを次第に強めるアルバムが続いた。

この影響はやがて中心的な位置を占めるようになる。JCRZは映画音楽の参照先として、ジョン・ウィリアムズ、ジェリー・ゴールドスミス、ハンス・ジマー、ジョルジオ・モロダー、ジョン・カーペンターを挙げている。2022年には、モロダーが映画『スカーフェイス』のために作曲したTony's Themeを自らのバージョンで発表した。



2015 Jubilee

2015年7月14日。現在のディスコグラフィーの起点となる作品。
Love Controlを収録。



2016 Soundtracks

2016年4月15日。ハンス・ジマー、ヴァンゲリス、ジョン・ウィリアムズ、ジェリー・ゴールドスミス、ジョン・バリーらに触発された、オーケストラと電子音楽のアルバム。



2016 Eclipse

2016年12月28日。全9曲。



2017 Sunset Highway

2017年5月15日。全9曲。2023年にリミックス盤で再構築された。



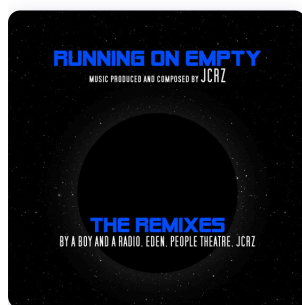
2017 Wild Runner

2017年12月20日。1980～90年代の電子音楽サウンドトラックに触発された全12曲。

	2019	Urban Waves	2019年11月6日。ドリームウェイヴ、ニューディスコ、イタロ・ディスコを行き交う全10曲。
	2020	Interceptor	2020年8月25日。全10曲。
	2021	Fading Horizon	2021年5月17日。アンビエント、エレクトロニカ、ダウンテンポ、チルアウトにオーケストラの要素を融合。
	2021	Beyond The Fading Horizon	2021年6月5日。シンセウェイヴと80年代エレクトロに寄った、よりエネルギッシュな「対」のアルバム。
	2022	The Quickening	Expanded Edition (拡張版)。
	2022	The Cinematic Project	Expanded Edition (拡張版)。ヴァンゲリス、ハンス・ジマー、ジョン・バリール、エンニオ・モリコーネを参照しつつ、エレクトロニクス、アンビエント、オーケストレーションを融合した本格的な映画音楽プロジェクト。

07 現在のディスコグラフィー

JCRZのBandcampカタログには現在31作品が並ぶ。アルバムに加え、主要作品を発展・再解釈するシングル、EP、マキシ、テーマ作品が続いており、とりわけWild Runnerは2022年に4つの新バージョンが発表された。



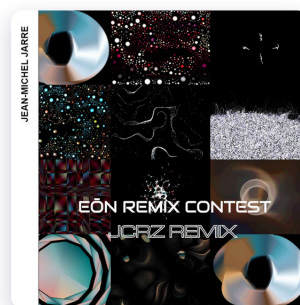
2017・EP
Running On Empty – The Remixes



2018–2019
Purple Road・The Mixes



2019・EP
In the Garden



2020・REMIX
EON Remix Contest – JCRZ Remix



2021・SINGLE
Another Angel



2022・EP
Wild Runner – 2022 Mixes



2022
Spinning Planet – 2022 Remaster



2022
Cybercity



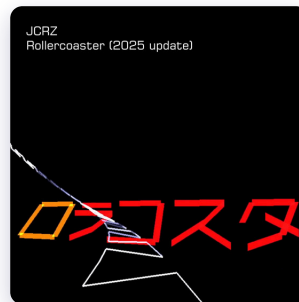
2022
Dawn Of Gods



2023・MAXI
Sunset Highway Remixed And Revisited



2024・SINGLE
City Night Lovers



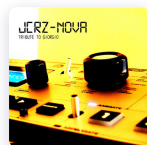
2025・SINGLE
Rollercoaster – 2025 Update

2022年にはほかに、Wild Runner – 2022 Remaster、Redrummed Remix、People Theatre's Virtue Mix、Tony's Theme (From "Scarface")も発表している。

BANDCAMPカタログより



Radio Robot・2013



JCRZ-NOVA – Tribute To Giorgio



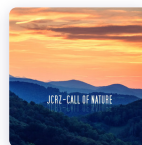
Trancedreamer



Modular



Electronic Rain



Call Of Nature



Dark Soundscapes



Starclub



最新作・2026年

Grey Clouds

2026年9月にリリースされたGrey Cloudsは、彼のカタログの最新章である。最初の作曲から30年以上を経た今も、JCRZは完全にインディペンデントな立場で、メロディックな電子音楽を発表し続けている。

08 インディペンデント電子音楽の30年

JCRZの歩みは、30年以上にわたるインディペンデントな電子音楽制作とデジタル配信の旅として読むことができる。

1990年代の最初の音楽ファイルからMP3.comへ、そしてJamendoとクリエイティブ・コモンズ・ライセンスから、リミックス・コミュニティ、YouTube、Mixcloud、Bandcampへ。JCRZはインターネット音楽の各時代とともに歩んできた。



オリジナル作品

トランスやエレクトロニカから、アンビエント、シンセウェイヴ、映画的なサウンドスケープまで。一貫しているのは、メロディックでしばしばメランコリックな音楽性。

リミックス

ペット・ショップ・ボーイズを中心とした膨大なリミックスとマッシュアップ。ラジオでも放送された。

Geowayneのウェイン・スチューダーによる評価、ラジオでの放送、そしてオンラインでの幅広い反響は、インターネット上の非公式な活動から生まれた作品群が、独自の歴史と国際的な広がりを獲得したことを示している。

JCRZは、MP3の黎明期、MP3.com、フリー・ミュージックとクリエイティブ・コモンズ、Jamendo、ファン・リミックス文化、そして現在のデジタル配信プラットフォームを次々と経験してきたインディペンデント・ミュージシャンの世代を代表する存在であり、その音楽制作は一貫して個人的かつ独立したものであり続けている。



エレクトロニック・ミュージック

出典

公式サイトjcrz.com（過去のバイオグラフィーとディスコグラフィー）・Robert NagleによるJCRZインタビュー、*Idiotprogrammer / Imaginary Planet*、2010年1月・Jamendo アーティスト・プロフィール2189およびアルバムページ（発売日はJamendoを優先、Internet Archiveの保存版を参照）・Bandcamp、Spotify、Apple Music（カタログと発売日）・Mixcloud *A 200 Minute Selection Of JCRZ Remixes*・YouTube *The Way It Used To Be*（JCRZ制作のビデオ）、*Paninaro (JCRZ Remix 2020)*・RadioPlus（2021年3月7日放送）・Geowayne（Wayne Studer）マッシュアップ選・O'Reilly *MP3: The Definitive Guide*、Museum of Portable Sound（MP3.comの歴史）
ビジュアル：JCRZ オリジナル・ジャケット（アーティスト・アーカイブ、Jamendo、jcrz.bandcamp.com）、JCRZ ロゴ。